

令和 3 年度

事業者番号	4182	事業所番号	418200
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	GSユアサ インフラシステムズ	前年度における事業所数	1
代表事業所所在地	市区町村	川越市	
	字・地番	下赤坂大野原677番地	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	29 電気機械器具製造業		
分類番号(中分類)	29		
事業活動の概要	電源機器製品の設計、製造、販売、搬入、現地調整、据付工事、電源機器製品の保守、点検、修理業等 従業員数計：274名(2021年5月現在)		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	～	6	年度	
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量	1,433	t-CO ₂	基準となる原単位	t-CO ₂ /百万円
	その他ガス	基準となる排出量(前身となるサンケン電気川越工場の令和元年度(2019年度)排出量)に対し、令和2～6年度の各年度で、前年度比1%の削減を図ります。				

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	～	11	年度	
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	GSユアサ インフラシステムズ	川越市下赤坂大野原677番地
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	673				

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	基準	1,433				
	前年度比 (%)	—				
	基準となる排出量に対する削減率 (%)	7.5				
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		1,326				

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算 (t-CO₂/指標)

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	基準	0.1013				
	前年度比 (%)	—				
	基準となる原単位に対する削減率 (%)					
活動規模の指標	単 位	13,088.00				
	売上 百万円					

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	CO ₂ 排出量（電力と燃料を絶対値と売上高原単位で集計） GSユアサ インフラシステムズ の実績 2019年度排出量：1,443[t-CO ₂] 2020年度排出量：1,326[t-CO ₂] →コロナの影響による窓扉開放での空調運転を年度途中から実施した ことで削減効果率減少の主要因と分析
令和3年度 (2021年度)	
令和4年度 (2022年度)	
令和5年度 (2023年度)	
令和6年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	窓断熱フィルム (川越工場)	R1以前	R1以前	1
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具更新 110w 磁気式⇒LED化 (川越工場)	R1以前	R1以前	1
3	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	1号棟クーリングタワーの運転時間短縮による電力削減 (川越工場)	R1以前	R1以前	
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具LED化(川越工場)	R1以前	R1以前	1
5	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	1号棟空調機更新 (定格電力を約5.6kw削減) (川越工場)	H26以前	H26以前	1
6	130100	空調設備・換気設備	13_空調設備の運転管理	入寮者へ電気・空調の省エネ依頼	H26以前	H26以前	
7	150100	受変電設備、照明設備、電気設備	15_受変電設備の管理	電力トランスの合理化	R1以前	R1以前	
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具LED化(川越工場)	R1以前	R1以前	1
9	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機老朽化更新 (川越工場)	R1以前	R1以前	
10	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具LED化(川越工場)	R1以前	R1以前	1
11	490200	その他	49_その他の削減対策	太陽光発電の設置(川越工場)	R1以前	R1以前	16
12	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具LED化(川越工場)	R1以前	R1以前	1
13	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	重油ボイラー廃止(川越工場)	R1以前	R1以前	28
14	490100	その他	49_排出量取引	評価設備を石川サンケンに移管	R1以前	R1以前	
15	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機更新	R1以前	R1以前	

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

1. 新会社設立
サンケン電気（株）の社会システム事業の譲渡を受け、2021年5月1日に株式会社GSユアサ インフラシステムズを設立しました。
サンケン電気の社会システム事業は、1946年の同社創業以来、直流電源装置、無停電電源装置などの電源装置の供給を通じて、社会インフラにおいて重要な役割を担い、お客様から高い信頼を頂いてまいりました。
この大きな強みを最大限に活かすため、高付加価値を追求する「新製品の開発」、マーケティングを軸にした「新市場への展開」、顧客密着による「新用途の開拓」に注力しています。
今般、更なる持続的な成長を目指し、鉛蓄電池やリチウムイオン電池等の各種電池に強みを持つGSユアサと共に、新たな1歩を踏み出すことといたしました。
2. ISO14001の取得
サンケン電気からの分割により株式会社GSユアサ インフラシステムズとして、環境マネジメントシステム（ISO14001）の工場認証を2021年6月に完了しています。
又、従来から実施しています環境活動から地球温暖化対策や廃棄物削減などの取り組みは、今後も継続して実施しております。
3. SDGsへの取り組み
電源装置設計においても、エコ、省エネ製品の開発もSDGs活動に関連性があることで継続した取り組みを推進しています。